

学力検査等の内容および合否判定の方法・基準

鎌倉女子大学

【一般選抜（一般選抜 A 日程(学部／特待生チャレンジ)、一般選抜 B 日程(学部))】

各学科・学環が指定した教科・科目の個別学力試験を課し、高等学校の調査書と総合して評価する。学力試験の得点については、科目ごとの基準点は設けず、受験科目の合計点で選考する。

【一般選抜（共通テスト利用）前期・後期】

各学科・学環が指定した教科・科目の大学入学共通テストの得点と、高等学校の調査書を総合して評価する。指定教科・科目数以上受験した場合は、高得点の教科・科目を合否判定に使用する。科目ごとの基準点は設けない。

【総合型選抜（学部・専願制／探究）】

プレゼンテーション、面接（「入学希望理由書」を資料とする）および調査書（「全体の学習成績の状況」および「出欠の記録」を本学の基準によりスコア化）で評価を行い、総合的に選考する。合否判定における評価配分は、プレゼンテーション 40%、面接 30%、調査書 30%とする。評価観点は、①アドミッションポリシー（AP）の適合性 ②基礎学力（知識・技能） ③思考力・判断力・表現力 ④主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度の4点とする。

【総合型選抜（学部・併願制／基礎力）】

各学科・学環が求める学力を測る基礎学力試験と小論文試験を課し、高等学校の調査書と総合して評価する。合否判定における評価配分は、基礎学力試験 60%、小論文試験 20%、調査書 20%とする。調査書は、「全体の学習成績の状況」および「出欠の記録」を本学の基準によりスコア化して選考する。

【学校推薦型選抜（学部・専願制／一般）】

面接、小論文および調査書（「全体の学習成績の状況」および「出欠の記録」を本学の基準によりスコア化）で評価を行い、総合的に選考する。面接は、入学希望理由書に書かれた内容を中心に質疑応答を行い、「思考力・判断力・表現力」を観点に評価する。「アドミッションポリシーの適合性・主体性等」も評価観点とする。評価は、ルーブリック評価表（別紙）に基づき、絶対評価で行う。

【社会人特別選抜】

書類審査、小論文および面接（志望する分野についての基礎的事項に関する問が含まれる）で評価を行い、総合的に選考する。面接は、入学希望理由書（経歴書を含む）に記載された事項を中心に行うが、その中に志望する分野についての基礎的事項に関する問を各学科の定めるところにより適宜含めるものとする。小論文は、各学科の指定する課題について、各学科の定める基礎的な事項を修得しているかを観点に評価する。